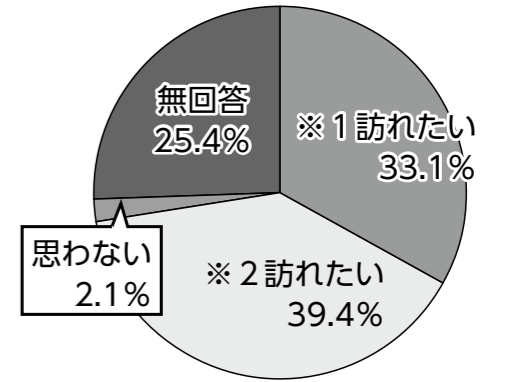
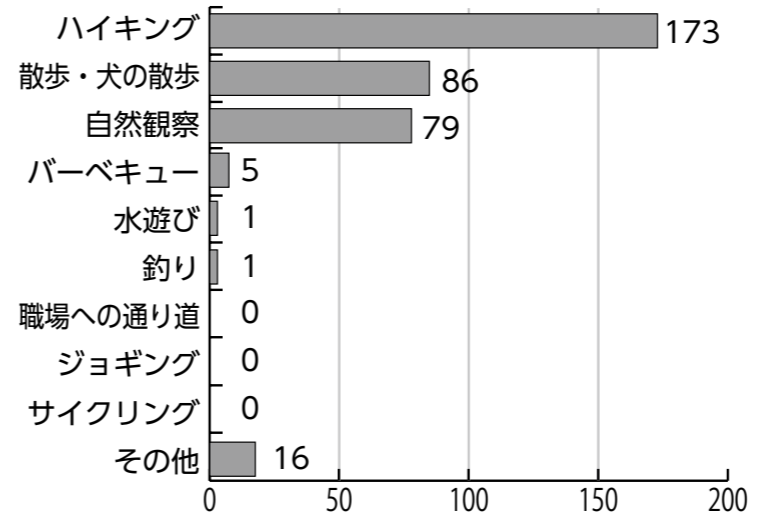


平成25年11月23日(土)嵐山溪谷紅葉まつり開催中に、利用者アンケートを実施したので、その一部をご紹介します。

嵐山溪谷バーベキュー場から嵐山溪谷のトラスト地付近へ行く為には、現在、川から離れた道を歩いていく必要があります。今後、川の近くを通る通路等により行きやすくなった場合、嵐山溪谷のトラスト地付近を訪れたいと思いますか？これまでの利用状況も合わせ教えてください。

本日はどのような目的で訪れましたか？



※1 嵐山溪谷へ行った事がある。  
※2 嵐山溪谷へ行った事がない。

アンケート調査によると、嵐山溪谷へは、ハイキング、散歩及び自然観察などを目的とし多くの方が訪れています。また、川の近くを通る通路等を整備した場合、これまで行ったことがない方も含め、7割を超える方が嵐山溪谷のトラスト地付近を「訪れたい」ということが伺える結果となりました。

槻川に関する歴史や伝承にまつわる資料を探しています

嵐山町では今後、広報嵐山に「槻川」に関する歴史や、「槻川」と共に暮らしてきた生活の記録について掲載をしていく予定です。(例えば、槻川で稲の豊作を祈る豊作祈願祭が行われていた。など) つきましては槻川に関する写真、絵、伝承などの関係資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら町内・町外を問わずご連絡ください。皆様がお持ちの資料を紹介させていただきたいと思っております。場合によっては資料をお借りしたり、取材に伺わせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。皆様からのたくさんの情報提供をお待ちしております。  
(嵐山町内を流れる槻川を対象とした資料をお願いいたします)

問合せ 地域支援課 地域支援担当 ☎62-2152

地域コミュニティ  
かわら版

菅谷1区  
区長 宮本 雅久

こんにちはの地域社会において、どこでも少子・高齢化・介護・独居老人の問題、それに地元自治会に未加入のアパートに居住の方々との交流をどう進めて行くか？課題が山積みとなっております。それと地元自治会の世代を超えた交流が希薄になっており、地域にある伝統文化を含めて、生活文化も継承されなくなることや考えると、世界遺産登録も大事だが地元地域の遺産登録とその維持について対策が必要だ！と考えるのは私だけだろうか？私は現在彩の国コミュニティ協議会の理事の委嘱を受けている関係から紙面を借りて彩の国コミュニティ協議会の基本的な目的と展開の方法の一部を説明致します。



人々や様々な団体がお互いに支え合って地域全体で取り組み「日本一の共助県」を目指す！としています。住民自らが地域の課題解決のために、住み良い地域環境を作り出す様々なボランティア活動がコミュニティ活動です。自主的な意思に基づく、社会福祉、保健医療、介護、緑と川の再生、環境美化、保全、青少年育成、子育て支援活動、交通安全、防犯、防災、災害対策、スポーツ及び芸能文化などの多分野での活動が、それぞれの地域に応じた地域に根ざした多彩な仕組みの中で行われる事が必要であるとうたっております。委嘱を受けて初めてコミュニティ事業は前述のように幅広く多岐に渡っている事を知りました。

さて、菅谷1区のコミュニティ活動は4年目を迎える「めざせ100歳元気！元気事業」が社会福祉協議会の職員や地域ボランティアの指導で、多くの高齢者が毎回継続して出席してくれています。ただ男性の参加が極めて少ないのが悩みです。参加者の方々の顔色も始めた時から見ると、本当に明るく健康な色艶になってきました。今後ともご自分の為に口腔体操・ストレッチ体操・ボール体操・頭脳活性化体操を続けていけば、健康で元気な100歳を迎えることが夢ではなくなるかな？と近頃本気で思うほど効果が出ていると思えます。

次に1区の元氣会が取組んでおりますランドゴルフでの健康維持事業で、今年の町民スポーツの日に開催された大会で優勝できました。それと昨年からは3名の女性が参加してくれて、まだたったの1年なのに今では常に毎週の競技に於いて、上位の成績をおさめる程の上達振りです。正にいま女性の活躍により日本再生の一翼を担ってもらおうという現政権の思惑どおり？の現象が出ており、うれしい事です。

さてもう一つ、あじさいの里づくりの事業の草刈りと清掃について多くの区民が参加をしてくれて、春・灼熱の真夏・晩秋と年3回実施しております。花が咲き終わったあと、来年の新芽が出るように花取り剪定を始めてから特に綺麗に咲くようになりまして。道行く車の運転手さんを含めて、通行者の皆さんに楽しんで頂いていると自負しております。

今後も多くの皆さんが楽しみにして頂けるように取り組んでまいります。年2回の歩く集いの健康維持事業は、埼玉県立嵐山史跡の博物館の研修と、国立女性教育会館内の新緑を見ながらの散策。秋の紅葉の時期には、大平山の裾から嵐山溪谷を通り、班溪寺の近くの公園での食事、槻川の土手を歩くコースは、少しハードですが、毎回皆さん楽しんで頂いております。紙面の関係で全部を紹介出来ないのが残念ですが、その他明るい町づくり運動の事業・地域の子ども達の見守り事業の学童下校時の交通指導・嵐山夏祭り。いきいきサロンの事業・年末には高齢者活性化事業の忘年会などを実施しております。

